

WILD-1 オリジナルブランド Qualz「POP-UP CAPSULE TENT」が 「防災認証アイテムコンテスト 2026」にて『ふだん防災バックアップ賞』受賞 ～ふだんはキャンプの着替えに、もしもの時は避難所のプライバシー確保や目隠しに～

株式会社カンセキ（本社：栃木県宇都宮市 代表取締役社長：大田垣一郎、以下当社）が展開するアウトドアライフストア「WILD-1」オリジナルブランド Qualz（クオルツ）の製品「POP-UP CAPSULE TENT（ポップアップ カプセルテント）」が、2026 年 10 月 17 日(土)に発表された「防災認証アイテムコンテスト」において、『ふだん防災バックアップ賞（いざに頼れる実力）』を受賞いたしました。

【本コンテスト・受賞の概要】

「防災認証アイテムコンテスト」は、「ふだん使えて、もしものに頼れる」をコンセプトとし、特別な防災用品をしまい込むのではなく、ふだん使う良いモノがそのまま備えになるという考え方を普及させるための新しいアワードです。今回、全 35 社・119 件のエントリーがあり、そのうち 111 件が「ふだん防災 認定」を受けました。さらにその中から、当社の製品を含む 14 アイテムが、専門家である審査員の「満場一致」により受賞アイテムとして選出されました。

【受賞製品と評価ポイント】

受賞賞名：ふだん防災バックアップ賞（いざに頼れる実力）

対象商品：Qualz「POP-UP CAPSULE TENT（ポップアップ カプセルテント）」

< 製品の強みと評価ポイント >

- ・パツと広げるだけで簡単に縦長のプライベート空間を作れます。
- ・平時(ふだん)はキャンプでの着替えスペースとして、災害時には避難所でのプライバシー確保や携帯トイレ使用時の目隠しとして幅広く活用できます。
- ・アウトドアの快適性を追求した機能が、避難生活におけるストレス軽減や尊厳維持など、災害時の安心・安全を守るツールとして高く評価されました。



Qualz「POP-UP CAPSULE TENT」

【審査体制・基準について】

審査委員長である濱口和久氏(一般財団法人 防災教育推進協会 理事長)をはじめとする防災専門家と、アウトドア業界のプロフェッショナル計 4 名が、実物をもとに多角的に評価を行いました。

< 5 つの審査基準 >

1. ふだん性：日常やアウトドアで使い続けたいか
2. もしも性：災害時に本当に役立つか(機能の実効性)
3. 転換のしやすさ：特別な準備や練習なしに、すぐ非常時へ切り替えられるか
4. 品質・安全性：作りの確かさ、耐久性、長期保管への強さ
5. 推奨度：家族や友人にすすめたいか



【今後の展望・当社の想い】

当社は、これまで WILD-1 を通じ培ってきた「アウトドアギアの実用性や耐久性」を活かし、日常の豊かさの提供にとどまらず社会課題の解決や人々の安心に寄与するモノづくりに取り組み、生活に寄り添ったより良い社会づくりに貢献できる企業として挑戦を続けてまいります。

< 本リリースに関するお問い合わせ先 >
株式会社カンセキ 総務人事部総務グループ
Tel. 028-659-3111